

市内 28 施設の電力供給元をリバースオークションで一括選定 電気代低減を図りながら実質再エネ 100%導入を実現します

市は、令和 7 年 7 月以降、本庁舎を始めとする 28 施設の使用電力を、実質再生可能エネルギー 100% の電力に切り替えます。

市では、2021 年 10 月に「ゼロカーボンシティいせはら」を表明し、2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。その実現に向け、本庁舎を始めとする計 28 の公共施設にバンブーパワートレーディング合同会社の実質再エネ 100% の電力プラン(※)を導入し、脱炭素化を率先して実行します。

今回は、株式会社エナーバンクが提供する電力のリバースオークションサービス「エネオク」を活用することで、電気代の抑制を図りながら、実質再エネ 100% の電力の供給により、市の事務事業による二酸化炭素排出量を大幅に削減できる見通しとなりました。

※非化石証書を用いた実質再エネ比率 100%電力(RE100 TECHNICAL CRITERIA 対応)を供給するプラン

1. 対象施設

市役所本庁舎、図書館・子ども科学館、市民文化会館、消防本部・署、市立小中学校 14 校、中央公民館、大田公民館、高部屋公民館、伊勢原南公民館、総合運動公園、鈴川公園ナイター施設、シティプラザ、老人福祉センター阿夫利荘、環境美化センター、日向ふれあい学習センター

2. 契約電力会社

バンブーパワートレーディング合同会社

3. 契約期間

令和 7 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日

4. 切り替えの効果（見込み）

- ・ 実質再エネ 100% の電力に切り替えながら、既存契約から年間約 3,200 万円の電気代を削減
- ・ 28 施設の使用電力が実質再エネ 100% 電気に切り替わることで、事務事業の年間 CO2 排出量の約 3 割に相当する 2,500t-CO2/年を削減

5. 取材について

取材を希望される場合は、事前に以下の問い合わせ先までご連絡ください。

担当・問い合わせ先
環境対策課 0463-94-4737